

地方創生・国スポ・障スポ大会対策特別委員会

- 1 開催日時 令和3年7月13日（火） 10時02分～12時13分
- 2 開催場所 第四委員会室
- 3 説明員 商工観光労働部長、文化スポーツ部長および関係職員

4 議事の概要

(1) 付議事件に係る関係部局の取組について

① 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会に向けた取組について

委員からは、レイキッズ事業として県内で育成した選手が、県外に流出せず県内の高校に進学してもらえるよう、高校と連絡をしっかりと取って対策を行われたい、両大会の主会場である第一種陸上競技場の施設整備にあたって、予算縮減のためエントランス整備の見直しが行われたが、来場した観客のイメージを悪くしないような整備をされたい、総合開会式の式典前演技について、中高生の参加を検討しているのであれば、学生や教育現場に大きな影響が出ないよう、一般参加を多くして学生の負担を少なくするなど、対策を十分に検討されたい、障スポ大会に向けて、若い世代のサポートスタッフの育成や、ニュースポーツの講習などによる発信など、ここから滋賀県の障害者スポーツが発展したと言えるような取組をされたい、両大会は当初予定より1年延期となったが、ターゲットエイジへの影響など、コロナによるつらい思いを乗り越えて迎える大会にするべく、今までのやり方を打ち破った新しい大会にすべきである、大会施設の整備と運営について、感染症だけではなく、熱中症や豪雨などにも対応できるような整備や運営を検討されたい、などの意見が出された。

② スポーツ振興について

委員からは、部活動指導員配置促進事業について、希望しても採択されなかったケースもあると聞いているので、希望校が全て採択されるように推進をされたい、プロスポーツ以外でも、女子硬式野球などのクラブチームが地域に密着した活動を行い、地域に貢献をされているので、県でPRをしてもらおうと共に、しがスポーツ大使の認定についても、大会等の成績だけでなく、地域における活動を加味するなど、認定の仕組みを再検討されたい、スポーツ振興については、両大会後も見据えて、地域を盛り上げるという地方創生の側面も認識して取り組まれたい、などの意見が出された。

③ スポーツ（身体活動）を活用した健康増進について

（２）ビワイチを活用した地方創生について

① 滋賀県自転車活用推進計画およびビワイチ推進総合ビジョンの概要について

② 他都道府県の自転車活用に係る条例および観光振興条例について

③ （仮）ビワイチ推進条例制定に向けた論点整理およびスケジュールについて

委員からは、条例制定の目的に自転車という言葉が出てこないの、特出しにするかどうかで今後の議論の方向性が決まるのではないかと、ビワイチ推進の具体的な取組例として、近江鉄道や湖上交通の活用のほか、JRも含めた公共交通全般を活用した形での推進が重要である、ビワイチの推進は琵琶湖一周だけでなく、内陸部を周遊するビワイチ・プラスにつなげたり、健康増進や家族がふれあう機会の創出に派生させるなど、県民全体に恩恵が行き渡るような取組にしなければならない、条例制定に向けて、様々な課題を見つけ、議論を進めながら、課題や県民の不安を解消する形で作り込めると、今後の県の施策に寄与するのではないかと、などの意見が出された。



委員会に配付された資料

- 資料1-(1)-① 両大会の開催準備状況について
- 資料1-(1)-② 県立スポーツ施設等の整備状況について
- 資料1-(1)-③ 国スポ・障スポに向けた競技力向上対策について
- 資料1-(2)-① スポーツ振興について
- 資料1-(2)-② スポーツ振興について
- 資料1-(3) スポーツ（身体活動）を活用した健康増進について

- 資料2-(1)-① 滋賀県自転車活用推進計画（概要）
- 資料2-(1)-①参考資料 滋賀県自転車活用推進計画
- 資料2-(1)-② ビワイチ推進総合ビジョン（概要）
- 資料2-(1)-②参考資料 ビワイチ推進総合ビジョン
- 資料2-(2)-① 自転車の活用等に関して規定している条例の特徴的な規定
- 資料2-(2)-①参考資料 自転車の活用等に関して規定している条例 関連資料
- 資料2-(2)-② 主な観光振興に関する条例の特徴的な規定
- 資料2-(2)-②参考資料 主な観光振興に関する条例 関連資料
- 資料2-(3)-① 自転車関連法令および計画等の相関図
- 資料2-(3)-② (仮)ビワイチ推進条例制定の目的、目指す方向性および制定後のあるべき姿(案)
- 資料2-(3)-③ 条例制定に向けての今後のスケジュール(案)